

MBC ラジオ『ここが聞きたい！ドクタートーク』2025.12.13

第 1180 回放送分『肺高血圧症』2回目

ゲスト：窪田 佳代子ドクター

二見いすず

今月のドクタートークは「肺高血圧症」をテーマにお送りしています。

お話は、鹿児島県医師会 窪田 佳代子（くぼた かよこ）ドクターです。

窪田さん、よろしくお願ひいたします。

窪田佳代子Dr.

よろしくお願ひいたします。

二見いすず

先週は、肺高血圧症とはどんな病気なのかについて教えていただきました。

心臓の右側から肺へ血液を送る肺動脈の拡張血管が狭くなり、

血液が通りにくくなるなどの理由で、肺動脈の血圧が高くなる病気ということでした。

そしてそこには5つの原因があるというお話をしました。

それでは1つずつ原因を教えていただけますか。

窪田佳代子Dr.

はい。まず1つ目の原因は、心臓の左側の状態が悪いというもので、人数が一番多いです。

2つ目の原因は、肺の状態が悪いため酸素が不足しているというものです。

これが原因となる方は男性が多い傾向にありますが、重症になる方は多くありません。

3つ目は、複数の原因があわさっているものです。

そして4つ目と5つ目の原因は、希少疾患で難病に認定されています。

二見いすず

そうなんですね。4つ目と5つ目の原因は、それぞれどのようなものなのでしょうか？

窪田佳代子Dr.

4つ目の原因は、肺動脈自体に原因があるものです。

これは女性が多く、以前は2、30代でよく診断されていたのですが、最近は70歳以上の高齢の方も多く診断されています。

最後の5番目の原因は、慢性的に肺動脈の中に血栓が詰まっているものです。

こちらは60代以上の女性に多くみられます。

二見いすず

肺高血圧症で難病とされているのは、どちらも高齢の女性が多いのですね。

5つの原因によって、それぞれ治療は異なるのでしょうか？

窪田佳代子Dr.

はい。それぞれで異なってきますが、初期症状は共通しています。

まず動いたときの息切れです。

しかし進行していくと安静時でも息切れするようになります。

あとは脚のむくみや体重増加です。ただしこの病気に特化している症状がないので、

見過ごされてしまうことがあります。

二見いすゞ

確かに息切れといつても、年齢や運動不足のせいかな？と思ってしまいがちですよね。

窪田佳代子Dr.

そうですよね。1つの基準として、今までできていた家事がきつくなっていないか？

というのは判断基準になります。特に前かがみの姿勢がきつくなるので、

掃除機やお風呂掃除がつらいと感じたり、

これまで歩いていた距離がしんどいと感じたりしたら病院を受診してください。

二見いすゞ

病院ではどんな検査をしますか？

窪田佳代子Dr.

外来では、心電図やレントゲン、心エコーなどをしますが、なかでも心エコー検査は肺高血圧症をみつける上でとても有用な検査です。

それで異常があれば入院したうえで、右心カテーテル検査をして診断が確定します。

健康診断がきっかけで分かることもあるので、検診も大切です。

二見いすゞ

よく分かりました。

今月は、「肺高血圧症」をテーマにお送りいたします。

お話は、鹿児島県医師会 窪田 佳代子ドクターでした。

窪田さん、ありがとうございました。

窪田佳代子Dr.

ありがとうございました。